



# 東京金山会通信

No.72



◀こちらから東京金山会のページにアクセスできます

## 第66回 東京金山会総会「ふるさとを語る集い」のご案内

今年で66回目を迎える東京金山会総会・「ふるさとを語る集い」を、令和7年6月15日(日)に開催いたします。昨年の第65回記念総会は、町のみなさまの温かいご協力もあり、大変盛大なものとなりました。今年も、昨年に負けない充実した会となるよう、役員一同、年明けから本格的な準備を進めております。会場は昨年と同じ「アイトホテル日暮里ラングウウッド」を予定しております。久しぶりの再会を楽しんだり、新たなつながりが生まれたり、参加者同士がふるさとを共に語り合えるひととき。また、第2部の「ふるさとを語る集い」では、ゲストをお招きしての歌謡ショーなど、多くの方に楽しんでいただける企画を考えています。

▶昨年開催された東京金山会総会「ふるさとを語る集い」の様子



【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435 mail : fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

## 森の子ども図書

No.231



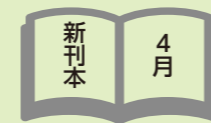
ちきゅう

作：G・ブライアン・カラス

「地球。この大きな乗り物に乗って、僕たちは宇宙を旅している」著書は、実に短い言葉の中に作者の大きな宇宙観や地球についての知識が凝縮されています。私たちが暮らすこの星、地球が絶妙のバランスのもと、自転や公転、引力など地球と宇宙の仕組みをスケールの大きな絵と言葉で学べる。地球についてきちんと勉強する前に読むことをお勧めします！

### 交流サロンぽすと

月～金 12時30分～17時まで  
※祝・盆・正月は休み



※( )内作者名

／今月は8冊！／

京都ものがたりの道 新装版(彬子女王)／最後の甲賀忍者(土橋章宏)／楽園の楽園(伊坂幸太郎)／  
藍を継ぐ海(伊与原新)／そして少女は、孤島に消える(彩坂美月)／知りたいこと図鑑(みつけ)／  
パンダどうぶつえん(おおのこうへい)／シルバー川柳 人生に金メダル編(みやぎネット)

## 図書室だより



そして少女は、孤島に消える

彩坂美月／双葉社

映画のオーディションに挑み、最終審査まで残った井上立夏は、他の候補者である四人の少女とともにロケ地となる孤島に降り立つ。ここで台本に書かれた演技をするよう監督に指示されるが、「島に残るのは君たち五人だけだ」と言われ、スタッフは姿を消してしまふ。受け取った台本に書かれていたのは・・・？



知りたいこと図鑑

みつけ／KADOKAWA

三桁の電話番号、洗濯表示、猫と犬の毛色、柄の名前などを眺めるだけで楽しく学べるイラスト教養雑学本。知っておきたい様々な知識がかわいい図解で一冊に。きちんと知りたいいなと心の奥底で思っている知識が、センス良いレイアウトで記載。ちよとした豆知識を身につけてみませんか？

【図書コーナー】 金山町中央公民館内 9時～17時

金山町  
地域おこし協力隊

◀日々の活動の様子は  
Instagramで発信中です



## 昨年度協力隊として 活動をしてみて

地域おこし協力隊 大友 淳

皆さん、こんにちは。昨年から地域おこし協力隊として活動しています大友淳です。活動内容としては「グリーンバレー神室エリア」の魅力をPRし、どの様に神室エリアの魅力をPRし、どの様に沢山の観光客に伝えるか、足を運んでももらえるか、など大変悩んだことを思い出します。協力隊として2か月経った頃(6月)にシェーネスハイム金山1階にてカムロヒュッテをオープンし、このことがきっかけとなり、不安なことや悩んでいたことが少しずつ解消していききました。オープンの目的は宿泊者や観光に訪れた方々に金山町の魅力を伝える場所をつくる事でした。いざスタートすると町民の方々はじめ役場の方々も沢山利用して頂き、勿論観光客もですが、その方々とお話をさせてもらいながら、徐々に悩みや不安が解消されました。この1年間、町民の方々や役場の方々、そして協力隊の仲間を支えられて活動出来たと実感し、感謝があります。



▶地域おこし協力隊 大友淳(右)  
地域おこし協力隊 澤野美香(左)



### かねやま紅風会

#### 金山杉俳句会報 第四九七回

電線が大きく揺れて春一番  
今は無き踏俵見ゆ資料館

阿部 一代

軒下のガサツと崩れて雨水なり  
春兆すモルック弾ける地区センター

星川 キエ子

降る雪が雨に変わりて春きざし  
日差し受け鉢の薔も花と化す

岸 昭子

砂吐ひて呟く気泡寒蜩  
軒氷柱月の青さに育ちけり

高橋 洋子

連山の眠りをほとき春立てり  
四阿へ香降り止まず枝垂梅

栗田 弥超

寒の内月影薄く窓に入る  
かわたれや雪崩落つ屋根軋む音

栗田 弥超

水仙花蕾の膨らみ明日を待つ  
亡き友へ望郷仰ぐ春彼岸  
白山に大輪咲かず冬火花

荒屋 阿部 勝子

朝寝して小走り急ぐ春の道  
今日一日終へて家路の星月夜  
春日長輪投夢中に時忘る

荒屋 関 喜美子

和わらかく小鳥囀る春の庭  
雪山を親子で駆ける白兔  
増水の川辺を叩く猫柳

菅越 庄司 けみ子

春みぞれ逢ひたき人を遠くせり  
身の丈に合はす生方梅の花  
立春を告げし朝の陽射かな

七日町 青柳 キエ子

廃屋の崩れ母屋に雪の嵩  
豪雪も四温の風に遠ざかる  
冬囲ひ解きて狭庭の青い空

上台 阿部 一步